

「かんきょう」パンフレット

第74号 (社内環境情報紙)

2012年5月8日

青柳工業株式会社 環境会議 事務局

ペットボトルキャップ回収状況

ペットボトルのキャップ回収を開始して1ヶ月が過ぎました。4月の回収実績数は、316個でまずまずのスタートをきりました。今月は会社の50周年旅行で、車内で使ったペットボトルキャップを回収していただいた分や、社員のご家庭で集めていただいた分などが含まれています。毎日、常設したキャップ回収箱を確認に行くときペットボトルの廃棄箱も覗いていますが、すべてキャップがとられた状態で棄てられていて、運動の趣旨が皆さんに伝わったと喜んでおります。実際には消費量が増える、夏場が分岐点になると思っています。心配していた、分別状況も良好で、安心していますが、1個でも多く回収するため、皆さんの協力をよろしくお願いします。



回収したペットボトルキャップ

夏の電力事情

政府より、本年夏季の電力需要見通しが発表されました。東京電力管内は、予想に反し供給量に余裕があることがわかりました。これは大口需要家がピークカット対策を積極的に実施したことや、震災後の節電意識が高まっていることなどがあげられます。想定の中味は、2010年の猛暑時の電力使用量を参考に、昨年同様の節電対策がされたと仮定し数値を割り出したようです。

昨年より供給見通しが上がった背景には、一般企業の自家発電設備増設による購入電力の増加、太陽光発電の増加など震災からの教訓が生きていることを物語っています。

当社も昨年と同程度の対策は必要な状況で、7,8,9月の3ヶ月間は、夏季特別対策として節電を実施しますので、よろしくご協力をお願いします。

2012年度、電力会社 夏の需要予測

	需要想定 (万kWh)	供給余力 (▼は供給不足)
北海道電力	500	▼3.1%
東北電力	1434	2.9%
東京電力	5520	4.5%
中部電力	2648	5.2%
関西電力	3030	▼16.3%
北陸電力	558	3.6%
中国電力	1182	4.5%
四国電力	585	0.3%
九州電力	1634	▼3.7%
合計	1億7091	▼0.4%

デマンドメータ設置検討

4月18日(水)環境ソフトウェア研究所の西村様と、大崎電気テクノ(株)平間様が来訪され、デマンドメータ設置に向けて打合せを実施しました。

デマンドメータとは、電力使用量が、最大に近づくと警報機等で知らせる他、電力の使用状況を記録することも出来る装置です。最大使用量を管理するためには、有効な設備ですが、当社の設備とどこまでマッチするか検討したうえで、導入したいと考えています。



検討中のデマンドメータ

環境コラム 「電気料金設定の仕組み」

会社の電気料金は、契約電力によって計算されます。家庭でいう契約アンペアがこれにあたります。自分の家の契約が何アンペアになっているか確認してみてください。当然、アンペア数が少ないほうが料金は安くなります。最近、子どもが自立した、ここ数年ブレーカーが落ちたことがないなど、心当たりのあるかたは基本契約を見直すことをお勧めします。家庭では電気を使い過ぎるとブレーカーが落ちますが、会社では問題が起きますので、過去11ヶ月間の最大電氣量(ピク値)が契約電力となります。現在は、1月に記録したピーク値の単価が適用されています。電気をあまり使わなくなった5,6月でも、1月と同じ契約で料金設定がされています。ピーク値を下げるのが、今後の電気料金に大きく関わってきますので、ピク値を管理することが、今後の課題となっています。